

企業の安全担当者に防衛講話

神奈川地方協力本部（本部長 高田充一海佐）は、平成26年6月11日（水）、厚木市文化会館ホールで行われた全国安全週間県央地区推進大会において、防衛講話、予備自衛官制度、援護制度の説明及び厚木募集案内所の広報を行った。

企業の安全担当者等で満席のなか、本部長が「海上自衛隊潜水艦部隊の安全管理」と題して、海上自衛隊のシーマンシップを始め「左警戒右見張り」という代々継承されてきた安全に対する意識や潜水艦内の狭い空間における行動等について講話をした。

また、予備自衛官課長（中垣事務官）が予備自衛官及び援護に関する制度について説明し理解と協力を求めるとともに、厚木募集案内所所長（小谷2海尉）が事務所の活動などを紹介した。

神奈川地方協力本部は、「今後も、地本一丸となり、あらゆる機会を活用して自衛隊のPRに努め、国民に理解と協力を求めていく」としている。



安全講話を行う高田本部長

よこすかYYのりものフェスタ2014で募集広報

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、6月14（土）及び15（日）、「よこすかYYのりものフェスタ2014」において、募集広報を行った。

この催しは、横須賀市観光協会が主催し、横須賀市、JR東日本、京浜急行、陸・海自衛隊等が協力しており「のりもの」というテーマで様々なイベントが三笠公園、ヴェルニー公園、横須賀地方総監部等の各会場で開催された。

両日とも天候に恵まれ、10万人の来場者で各会場は大いに賑わった。横須賀地方総監部の会場では、護衛艦「てるづき」「ゆづぎり」及び哨戒機SH-60Kの一般公開、海上自衛隊セーラー服等の試着、砕氷艦しらせの紹介や南極の氷の展示が行われた。神奈川地本の募集広報ブースにも多くの来場者が訪れ、広報官は自衛官の募集制度の説明及び資料配布を実施し、募集情報の収集及び発信に努めていた。

横須賀地域事務所は「今後も機会を捉え募集広報を積極的に行うとともに自衛隊の活動を啓蒙していく」としている。



募集広報ブース